

# 東京工業大学基金

平成30年度活動報告書





## ～科学技術の新たな可能性を掘り起こし、 社会との対話の中で新時代を切り拓く～

創立130周年を契機に創設された東京工業大学基金に対し、皆様から多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。本活動報告書にもありますように、皆様からいただきましたご寄附は、貴重な財源として、教育・研究・社会連携・国際交流に関する様々な事業に有効に活用させていただいております。

本学は、2018年3月に文部科学大臣から指定国立大学法人の指定\*を受けました。

本学の指定国立大学法人構想は、これまで進めてきた教育・研究・ガバナンス改革を強みとして、創立150周年となる2030年に向けて、更なる飛躍を目指すものです。

本学は卓越した教育研究活動により優秀な人材を社会に輩出すること、及び優れた研究成果を還元することで社会課題の解決を図るとともに、本学の行っている活動をより広く発信することで、豊かな未来社会の実現に貢献して参ります。

このような本学の教育・研究・社会連携を通じた豊かな社会の実現に向けた取組を推進していくためには、財務基盤の一層の強化が必要であり、同窓生をはじめ、在校生のご家族、教職員及び企業等の社会の皆様のご支援ご協力が不可欠です。

本学のさらなる飛躍のため、引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国立大学法人東京工業大学長

益一哉



\*指定国立大学法人制度は、日本の大学における研究水準の著しい向上とイノベーション創出を図るため、文部科学大臣が世界最高水準の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定するものです。

## I. 平成30年度東工大基金の収支報告

### ●寄附金受入額

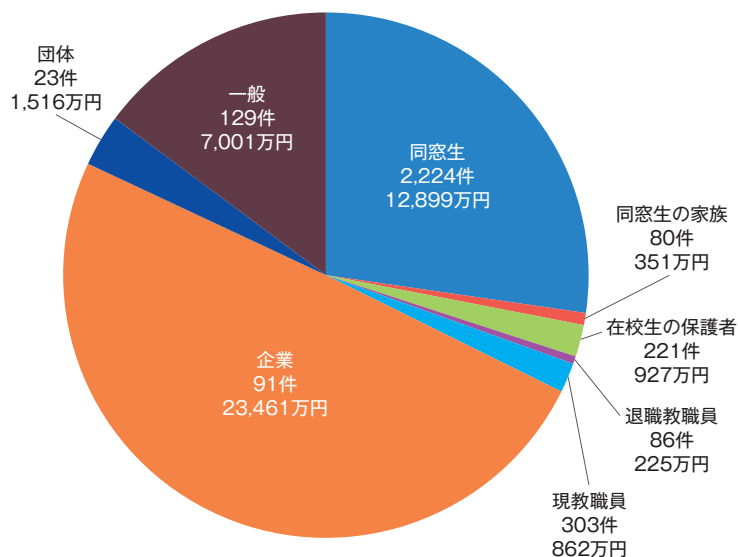
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度の寄附金受入額は、みなさまからの温かいご支援により、約4億7千万円となりました。受入額は平成25年の約10倍と着実に増えており、改めて感謝申し上げます。

平成30年度寄附金受入額 **472,422,745円**

寄附者の内訳は右記のとおりです。

- ・新しく創設した寄附プログラムである産学協働プログラム「人生100年時代の都市・インフラ学」により、企業からの寄附が増加しました。(前年度比855%)
- ・同窓生からの寄附は若干減少しており、同窓生の寄附者比率(1.1%)を増やすべく、蔵前工業会と連携して活動していきます。
- ・サポーターズ会員(継続的寄附制度)は371名となりましたが、皆様のさらなるご支援をお願いいたします。



### ●運用状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

東工大基金の資産のうち、約44億円分に関して運用を行い、約5千万円の運用益がありました。引き続き、きめ細かく運用していく予定です。

平成30年度運用益 **49,723,647円**

### ●支援額

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度の支援額は、約4億3千万円となりました。

平成30年度支援額 **434,490,064円**

支援額の内訳は右記のとおりです。

### ●基金の資産残高

東工大基金の資産残高は、平成31年3月末現在で約66億円となりました。

平成30年度資産残高 **6,569,084,158円**

(単位：万円)

支援事業		支援額	小計
教育	①奨学金(27名)	2,030	5,765 (16%)
	②課外活動支援	956	
	③学生起業教育支援(6件)	84	
	④その他教育支援(各学院教育支援等)	2,695	
研究	⑤「東工大の星」研究支援(2名)	4,000	7,746 (22%)
	⑥大隈基金基礎研究支援(6件)	1,450	
	⑦末松賞「デジタル技術」支援(3件)	620	
	⑧その他研究支援(工学院支援等)	1,676	
社会連携	⑨産学連携プログラム	17,003	18,715 (54%)
	⑩理科教育振興支援(22団体)	965	
	⑪本学主催イベント支援	473	
国際交流	⑫その他社会連携支援(博物館支援等)	274	2,608 (8%)
	⑬海外派遣支援(77名)	771	
	⑭短期留学生受入支援(61名)	989	
	⑮その他国際交流支援(清華大交流等)	848	
小計		34,834	(100%)
その他 (施設整備等)	⑯Taki Plaza建設	8,024	8,615
	⑰百年記念館リノベーション	591	
合計		43,449	

## II. 平成30年度東工大基金の活用報告

東京工業大学は、2030年までに「世界のトップ10に入るリサーチユニバーシティ」を目指して「教育」「研究」「社会連携」「国際交流」の4つのテーマを柱として活動しており、東工大基金の活用もこの4つを柱としております。

平成30年度における主な東工大基金の活用状況を紹介します。

### 教 育

#### ●学生への奨学金の充実

基金を活用した本学独自の給付型奨学金制度です。平成30年度は、27名の学生に対し、奨学金を支給しました。

奨学金の名称	対 象	給付額	人数
手島精一記念奨学金	学士課程2年次から3年間	5万円/月	9名
青木朗記念奨学金	修士課程1年次から2年間	5万円/月	6名
草間秀俊記念奨学金	博士後期課程1年次から3年間	6万円/月	5名
大隈良典記念基金奨学金	学士課程1年次から4年間	5万円/月	5名
三原正一 海外留学支援奨学金	修士課程で1年間	200万円/年 270万円/年	2名

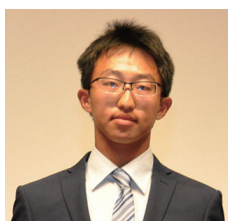


大隈良典記念奨学金授与式

「大隈良典記念奨学金」は、優れた人材が全国から東工大に集結し、将来のリーダーとして国際的に活躍できる人材を育成することを目的としています。

#### ☆基金から支援を受けた「大隈良典記念基金奨学生」の声

東京工業大学基金の奨学生に採用していただきありがとうございます。とても光栄に思っています。私の家庭は母子家庭で私自身と妹がともに私立の中学高校に通わせてもらっていたため学費が母の大きな負担になっていました。国立大学に進学するとはいえ、上京して一人暮らしをするためにはそれなりの金銭的な負担がかかることとなります。しかし基金の支援によって母の負担を減らして東京工業大学に通わせていただきとても感謝しています。そのおかげで勉学に励むことができ、希望の研究室に入るための第一歩である系所属でも希望の系に所属することができました。将来的にはバイオメカニクスやス



平成30年度奨学生  
川井農傑さん  
(工学院 システム制御系)

ポーツ工学を専門的に研究したいと思っています。また、中学高校でやっていた大好きなテニスも奨学金のおかげで続けることができています。これからも私を支援して下さい。皆様への感謝を忘れずに勉学運動共に精進します。ありがとうございました。

#### ●学生の課外活動支援

優秀な成績(国公立大学主催の競技会で3位以内など)を収めた18サークルに対し、援助金を支援しました。そのほか、サークルOB等から、サークルを指定したご寄附がありました。(33サークル)

#### ●学生への起業教育支援

学内のアントレプレナー(起業家)教育等に基づく、学生のビジネスプランをスタートアップにまで高めるための支援制度です。本制度により学生にアントレプレナーシップを涵養し、教育の観点から、起業を通して自身のアイデアを世界に発信する意欲を後押しします。本年度は、審査の結果、6件が採択されました。

### 研 究

#### ●若手研究者への大型支援「東工大の星」

「東工大の星」支援【STAR】とは、将来、国家プロジェクトのテーマとなりうる研究を推進している若手研究者や、基礎的・基盤的領域で顕著な業績をあげている若手研究者へ大型研究費の支援(1件あたり2,000万円)を行うものです。次世代を担う、本学の輝く「星」を支援します。第6回目の今回は、2名の「星」が選考されました。



「東工大の星」受賞式



## ●大隅基金基礎研究支援

「大隅良典基礎研究支援」は、日本の基礎研究力の低下を憂慮し、長期的な視点が必要な基礎研究分野における若手研究者支援を目的として、研究費の支援を行うもので、2018年9月に立ち上げられました。  
平成30年度は6名に対し研究費の支援を行いました。

### ☆基金から支援を受けた「大隅基金基礎研究支援」受賞者の声

私は超伝導体の内部を貫く磁束（渦糸）が示す量子現象について研究を行っています。理論によると、原子層近くまで薄くした超伝導体に極低温で強い磁場を加えると、磁束がボース凝縮を示す、つまり多数の磁束が位相の揃った1つの波動を形成するという非常に特異な量子現象が予想されています。これまでに電気抵抗測定による間接的な検出の試みはありましたが、明確な証拠はまだ得られていません。本研究では、極低温において熱流に対する磁束の応答を直接測定する熱電効果という測定手法に挑むことにより、本現象の実証を目指します。磁束が波動的に振る舞うという不思議さに加え、ボース凝縮はこれまでに限られた系でしか観測されていないので、本研究の達成は大きな学術的意味をもちます。採択いただいたことを励みにし、本支援を活用してより一層研究を推し進めていく所存です。



平成30年度  
大隅良典基礎研究支援採択者  
家永 紘一郎 助教(理学院 物理学系)

## ●「末松賞『デジタル技術の基礎と展開』支援」

本支援は、将来の基盤技術としてのデジタル技術に関心を持った若手研究者の育成を目的とし、コンピュータ、ロボティクス、ネットワーク技術等の活用に関する研究に関して幅広い支援を行うものです。初めての支援となる今回は、3名が選考されました。



末松賞授賞式

## 社会連携

### ●産学協働プログラム

本寄附プログラムは、民間企業等からの寄附金を有効に活用して設置運営し、もつて大学の教育及び研究の充実を図るとともに、その成果を社会に還元することにより、未来社会の創造や新たな価値の創出に資することを目的とするものです。第1号は「人生100年時代の都市・インフラ学」で、多くの業種から多数の民間企業の参加を得て、平成31年3月に開始されました。



多くの企業が参加した「人生100年時代の都市・インフラ学」総会

### ●小中高生に対する理科教育振興支援

日本の将来を担う小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動を支援するものです。本年度は、教員14件、学生8件 合計22件が採択されました。22件のプロジェクトの参加者は延べ3,500名にも及びました。



科学教室「葉脈のしおりを作ろう」(教員主催)



「オセロマシンの実演」(学生主催)

### ●本学主催イベント支援

本学主催の以下のイベントに支援を行いました。  
スパコン2018、すずかけサイエンスデイ、工大祭、ホームカミングディ、五月レガッタ等。



すずかけサイエンスデイ



ホームカミングディ (BMOT\*による講演会)

\*BMOTはBeyond Management of Technologyの略



## Ⅱ. 平成30年度東工大基金の活用報告

### 国際交流

#### ●海外派遣支援

グローバル人材育成のため、様々な海外留学プログラムを提供するとともに、留学する学生に対し学資金を支給しています。本年度は、海外派遣支援を拡充し110名に学資金を支給しました。

海外留学プログラム等の名称	支援人数
不徴収協定に基づく海外留学派遣学生支援	7名
グローバル人材海外派遣プログラム	40名
東工大・アジア理工系学生派遣交流プログラム (AYSEAS)	13名
語学研修モナッシュ大学等 (TASTE、モナッシュ大学、UC Davis) 派遣プログラム	4名
大学の世界展開力強化事業(派遣)トルコ	1名
TAIST-Tokyo Tech Student Exchange Program (派遣)	12名
ASPIRE League Student Workshop	4名
IDEA League Summer School	7名
ASPIRE, IDEA, AEARU関連経費 (Startup KAIST - Global Entrepreneurship CAMP)	2名
AEARU Student Summer Camp・ AEARU STEM Summer Camp	3名
専門性の高い学院等主導派遣ワークショッププログラム	16名
協定校プログラムへの派遣 (協定校等サマー・ウィンタープログラム等派遣)	1名



AYSEASでのひとこま

#### ●留学生受入支援

本学の国際化を目指すため、様々な留学生受入プログラムを用意し、受入留学生に対し、学資金を支給しています。本年度は、32名に学資金を支給しました。

海外留学受入プログラム等の名称	支援人数
ACAP	6名
ETHとの交流協定に基づく受入支援	1名
Tokyo Tech Summer Program	12名
TAIST-Tokyo Tech Student Exchange Program (受入)	2名
Tokyo Tech Winter Program	7名
大学の世界展開力強化事業(受入)キャンパス・アジアプログラム	4名



ウィンタープログラムでのひとこま

### 施設整備等

令和2年秋、大岡山キャンパス正門入口付近に、学生のための国際交流拠点となる東工大の新たなランドマーク「Hisao and Hiroko Taki Plaza」が竣工予定です。



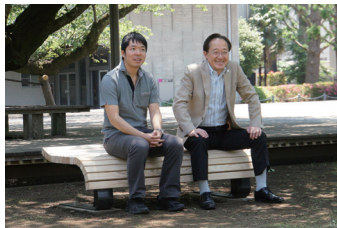
提供：隈研吾建築都市設計事務所

## 平成30年度における主な募金活動を紹介します。

### ●キャンパス環境整備基金

キャンパス環境整備基金は、財源の多様化を図るため、学内外から広く寄附金を募り、キャンパス環境整備にかかる財源として活用することを目的として、東京工業大学基金の中に設置されました。

キャンパス環境整備基金に一定の金額（個人100万円、法人500万円）以上寄附いただいた寄附者のお名前・メッセージを入れた記念ファニチャーの第1号が、東工大岡山キャンパスに設置されました。本館前のウッドデッキ脇に木製のベンチが置かれ、広々としたスロープを前にくつろいでいただけます。



記念ベンチ

### ●海外からの寄附

今年度から、海外在住卒業生が主催するイベント等の機会をとらえ、積極的な交流を図るとともに、東工大基金への支援依頼を開始しました。具体的には、バンコク（8月）、北京（9月）、台湾（11月）、マニラ（3月）で開催された総会・懇親会で、東工大基金の英文リーフレットを配布し、連絡先の提供・更新への協力をお願いしました。3月には、以前から交流の深かったフィリピン蔵前会（ATTARS Philippines）から、同会名による寄附がありました。海外の同窓会グループから組織として正式に贈られた初の寄附となります。今後も海外からの寄附を促進するため、留学生を含む卒業生との関係強化を図り、東工大のネットワークをグローバルに拡大していきます。



ATTARSへの感謝状贈呈

### ●第2回相続・遺贈セミナーの開催

平成30年9月に、卒業生サービスの一環として、第2回相続・遺贈セミナーを開催しました。本企画は、近年ますます複雑化している相続税に関する基礎知識や相続にかかる諸問題について、専門家を招いて解説を行うとともに、最近増えつつある公益性の高い団体（国立大学法人等）への寄附や遺贈を通じた社会貢献等についても講演しました。当日は30名近い参加者があり、参加者の本セミナーに対する関心の高さが伺えました。また、特別セミナー終了後、専門家による個別相談も行い、より充実したものとなりました。

### ●カレンダーキャンペーン募金の実施

カレンダーキャンペーンは、主に新入生の保護者や卒業生を対象に寄附依頼を行い、キャンペーン期間中に一定額以上ご寄附いただいた方に、特典として名前入り東京工業大学オリジナル卓上カレンダーを進呈するものです。平成30年度は、86件のカレンダー申込みがあり、寄附金額は、448万円でした。



### ●サークル支援基金の創設

本学には多数の公認サークルがあり、各サークルに所属する学生は活き活きと活動を行っております。そのサークル活動を支援するため、2019年1月に「サークル支援基金」を創設しました。



ご寄附いただいた皆様に感謝の意を表し顕彰を行っております。

### ●「感謝の集い」へのご招待

学長主催の感謝の集いにご招待いたします。平成30年度は、平成30年11月7日(水)に開催し、約180名の方にご参加いただきました。



平成30年度感謝の集い交流会

### ●芳名刻印レンガの設置

累積個人30万円以上、法人100万円以上のご寄附をいただいた方には、芳名刻印レンガを大学施設内に設置いたします。平成30年度は、新たに57名の方の芳名刻印レンガを設置しました。



芳名刻印レンガ

### ●紺綬褒章の授与

個人500万円以上、法人1,000万円以上のご寄附をいただいた場合は、国からの紺綬褒章授与の対象となります。平成30年度は、個人3名、企業1社の申請を行いました。



紺綬褒章

#### 東工大基金へのご支援のお願い

皆様からの東工大基金へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

##### 1. インターネットによるご寄附：

東工大寄附サイトのWeb申込フォームからお申込みください。(クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニエンスストアのうちから、いずれかの方法を指定することができます。)

<https://www.titech.ac.jp/giving/>

東工大基金 で 検索

##### 2. 郵便局・銀行振込：

東工大基金室までご連絡ください。必要書類をお送りします。

#### 東京工業大学基金室

TEL：03-5734-2415・2417

FAX：03-5734-2485

MAIL：bokin@jim.titech.ac.jp

URL：https://www.titech.ac.jp/giving/

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1



東京工業大学  
Tokyo Institute of Technology